



復興応援大使  
丸山 一太さん  
(板橋区)

南三陸町夢大使に代わり、6月から「南三陸町復興応援大使」が新たにスタートしましたので、今月号から、復興応援大使リレー通信を連載します。今回は、在京志津川会会長の丸山一太さんです。

復興応援大使  
リレー通信  
①

「海がこわいけど海が好き」  
詩の一節に心ひかれて！

何気無く、週刊誌をめくっていると、災害支援のコンサートの記事の中に、ふと目をとめる詩があった。その中から二篇（にへん）をいただいて、みなさんに読んでいただこうと思い紹介します。

「忘れない」という詩の中から  
年老いた漁師がつぶやいた  
オレなあ、家も船も流された  
家族を失った 海が憎い  
でも誰か船を貸してくれたら、海に出る  
海はこわいけど、海が好き  
2011年3月、忘れられない海になりました

津波は家や車や街や、命を奪っていった  
それでも、翌日、太陽はあがる  
東北の人はあったかい  
よく来たな、食事は食べたか、泊まる所あるか  
残酷な3月は絆の3月になりました  
2011年、辛い辛い3月を忘れません

作者 鎌田實（かまた みのる）先生  
長野県諏訪中央病院 名誉院長

この詩を読んで、共感する人も多いのではないかと思います。今回の大震災で「絆」と文字や言葉は多く使われました。平時には知らせのないことが、無事の証拠と決めつけて、疎遠になりがちだった身内や、友人、知人の関係が、こんなに密度の高いものになる機会を大震災という不幸が、私たちに教えてくれたように思えてならない。日常何気なく見聞していた、マスコミ情報も、南三陸町という見出しを見るたびに、テレビや新聞を見るようになり、身

内や友人知人に電話するなど、これまではあまりないことでした。私の出身は、戸倉の長清水ですが、自分の生家はもちろんのこと、集落のほとんどが、津波で流されて、跡かたもなくなり、現地に立って、津波のすさまじさに驚くばかりでした。帰京後すぐに役員に集まってもらって、何ができるか話し合い、まずもって義援金を募金することとなり、900名近い会員に、ハガキで協力をよびかけ、150名余の会員から協力を得て、昨年7月中旬に、南三陸町災害対策本部に、佐藤町長を訪ね、納金、その際この義援金は、特に志津川地区の漁業関係の基盤整備に役立ててもらおうように、との主旨を申し上げました。

在京志津川会の会員も構成員の高齢化も進んでいることから、機動的な支援活動も、組織的には無理な状況にあり、加えて会員各々実家や身内に犠牲者や、家屋流出等の事情もかかっているの、個々の対応に精一杯というのが実情だったと思います。災害の大きさからしても、国や県規模の支援のないことには、前進しない内容のものだと思います。こんなときこそ、町民と行政等の一体化が重要であると考えます。一日も早く復興プランの確定と、工事の着工促進を願っています。この大震災で南三陸町も全国に知名度を高めていることから、海産物や観光など発展の可能性は充分考えられるように思います。復興には時間もかかるとは思いますが、ふるさとの、そちこちから、復興の槌音（つちおと）の響く、活気あふれる町の姿を見せていただく日の遠くないことを会員と共に期待しています。被災者のみなさんも一層健康に留意され、「明日のこない夜はない」という気持ちをもって、明るく過ごされることを願っています。

# おらほのまちづくり支援 事業補助金

## 事業提案募集！

おらほのまちづくり支援事業補助金は、公益活動または集いと賑わいを創出するための事業を、自主的に実施する団体に対して、町が応援する提案公募型の補助制度です。柔軟な発想と創意工夫を活かした、まちづくり・地域づくり・応急仮設住宅での「ミニコミュニティ」についての事業提案を多数お寄せください。

### 公益活動事業

3名以上で構成される団体が行う事業で、活動が本人や団体のためだけでなく、社会全体に役立つことを目指す事業が対象です。補助率は、補助対象経費に対し100パーセントといたします。（上限：20万円、下限：なし）

### たとえば…

- ・地域の連携や一体感を高めるための事業など
- ・民俗芸能等を復活させるための取り組みなど
- ・地域内の高齢者や児童等の見守りや介護のための事業など
- ・各地区応急仮設住宅でのコミュニティ形成を図るための事業など

### 集いと賑わい創出事業

3名以上で構成される団体が行う事業で、県内外からの交流人口の拡大を図るためのイベント開催や多くの町民が顔を合わせ、連携を図るための行事の開催など、町に集いと賑わいをもたらす事業が対象です。補助率は、補助対象経費に対し75パーセントといたします。（上限：30万円、下限：10万円）

### たとえば…

- ・地域の魅力を高めるためのイベント開催
- ・朝市の開催など、賑わいの創出とともに地場産業の育成を図られる事業
- ・観光面でまちに賑わいをも

たらずイベント開催等の事業

### 募集期間

7月2日（月）から7月31日（火）

### 申込方法

復興企画課に用意してある関係様式にて、復興企画課企画推進係まで申し込みください。

※関係様式は、町ホームページからもダウンロードできます。

### 申込・問い合わせ

復興企画課企画推進係

☎ 46-1371

## 平成22年度に採択された事業（抜粋）

事業名	事業概要	団体名
田東山つつじ保全管理事業（公益活動事業）	田東山に群生するやまつつじの保全管理を実施	田東山つつじ保存会
ふるさと定住促進事業（公益活動事業）	空き家、空き店舗等を活用し、南三陸町への移住・定住促進	サンライズクラブ
ひころの里山づくり事業（公益活動事業）	ひころの里周辺の森林を活用した遊びと癒しの空間づくり	グリーンウェーブ入谷構想促進委員会
幸せ出会い促進事業（集いと賑わい創出事業）	町内の40歳以上の独身男性に独身女性との出会いの場を提供する事業	明るい南三陸町創造の会
屋台村「お手軽・出前メニュー事業」（集いと賑わい創出事業）	地域の魅力を高めるためのB級グルメメニューの開発とPR活動の展開	南三陸町飲食店組合